

1. 授業の概要

本講義の目的は 2 つである。1 つは法学の基本的知識の習得である。そして、いま 1 つは、社会で起きている様々な事象・問題を主体的に考えることを習慣化することである。本講義では、前者もさることながら、後者に力点をおく。社会で実際起こっている課題を現実にも即していかに克服するかを考えいくことは、教育現場で生じている多様な問題に対処する訓練にもつながるはずである。本講義では、教育現場で生じている法律学上の問題を取り上げ検討する

授業のスケジュールは、以上の通りであった。

第 01 回 ガイダンス

第 02 回 教育現場と憲法①憲法と社会の関わりについて

第 03 回 教育現場と憲法②校則と人権

第 04 回 教育現場と憲法③君が代と思想・良心の自由

第 05 回 教育現場と憲法④学校と信教の自由について

第 06 回 教育現場と憲法⑤教科書裁判

第 07 回 教育現場と憲法⑥教育を受ける権利と国際人権

第 08 回 教育現場と民法①民法と社会の関わりについて

第 09 回 教育現場と民法②いじめと民事責任について

第 10 回 教育現場と民法③体罰と民事責任について

第 11 回 教育現場と刑法①刑法と社会の関わりについて

第 12 回 教育現場と刑法②犯罪の成立要件について

第 13 回 教育現場と刑法③体罰と刑事責任について

第 14 回 教育現場と刑法④いじめと刑事責任について

第 15 回 まとめ

2. 授業評価の方法

成績はレポート試験による。場合によっては出席点およびディスカッションに対する貢献も考慮する。評価割合：レポート試験 90%、授業に対する貢献 10%。尚、本年度は課題を提示し、私が添削させていただき、受講生と双方向の授業を行った。

3. 授業アンケートの結果

○難しい文章を読み慣れていないというのもあり苦労しましたが、それを終えてみると新たな気

づきがあり、勉強になりました。

○法学 I の授業では学校教育における法的問題について考え理解を深めることが出来ました。今回は遠隔授業だったので自分で課題に取り組むという授業の形でしたが、国歌斉唱や武道の実技など実例について考えレポートにまとめ、先生から指摘を受け訂正することで理解を深めることが出来ました。

○法学 I の講義を受けて、文章をただ読み解くのではなく、そこには省略されている言葉、つまり行間を読むということについてとくに学べたと思います。

○実事例を通して、多くの法律や制度、考え方について学べました。当たり前だと思っ

ていることでも、宗教など考え方が違えば、普通ではない、ということになったり、どの観点を基準に判決をくだしているのか、だったりを考えることができたので、視野の広がる授業であったと感じています。

○他の人との話し合いや、先生の解説から、なるほど、と納得することができました。授業内容とは別に、教師として必要な能力を身につけるといっても、とても意味のある授業でありました。○遠隔の授業でしたが、毎回の先生による課題の添削は非常に勉強になりました。

○文献は難しかったが、先生の解説でだいぶ理解できるようになった。難しい文献でも、きちんとその読み方を教えてもらえてよかったと思う。

○判例について考えるだけでなくこれを踏まえた上で、自分が教師、教育者としてどのように対応していけばよいのかということまで発展させて考えることが出来たので、とても考え深い授業でした。